

# 「総合的な学習の時間」の学習デザインについて

「総合的な学習の時間」の学習指導案については、全体構造をイメージ化することを重視しました。まず、教師が鉛筆でデザインした作品を子どもと共に色付けをしていきます。そして、時には初めのデザインが消しゴムで消され、全く違った作品になっていくこともあるのです。そのような意味を込めて、本校の総合的な学習の時間「あさひ子タイム」の学習指導案を「学習デザイン」と呼ぶことにしました。

## 第○学年「あさひ子タイム」学習デザイン

○年○組 ○○名 指導者 ○ ○ ○ ○

### 1 単元について

年間テーマ

○ ○ ○ ○ ○ ○

↓

1 学期				2 学期				3 学期		
4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3

○ 教師の思いや願い

※ 今日的な課題を踏まえ、子どもたちにどのような生きる力を育てようとしているのか、教師がこの単元で期待している活動の思いや願いを述べる。

○ 子どもの思いや願い

※ 子どもたちの学習経験や生活経験をもとに、単元の学習活動と子どもの興味・関心とを関連付けて述べる。「生きる力」を十分意識して述べる。

○ 本校や地域の特色

※ 本単元にかかわる地域の特色について述べるが単元の内容によっては省いてもよい。

(1) 単元名 「○ ○ ○ ○」

(2) 目 標  
本年度の学習を通して子どもたちに身に付けさせたい資質や能力について述べる。

(3) 単元の評価規準

- 【学習への関心・意欲・態度】について述べる。
- 【総合的な思考・判断】について述べる。
- 【学習活動にかかわる技能・表現】について述べる。
- 【知識を応用し理解する力】について述べる。

## 2 児童の実態と指導

※ 単元内の内容にかかわるだろうと思われる具体的な実態について、これまでの学習経験や生活経験から、アンケート等を実施して整理する。


さらに、これらの実態から、子どもの思いや願いがどのような課題に発展し、どのような学習活動を展開していくことが予想されるかということが分かるように書く。

※ 次のような観点等で、実践の取組の手だてや特色が示すことができるようにする。

- ① 自ら課題を見付け、よりよく課題を解決するための手立て
- ② 興味・関心に基づき、課題解決や追究活動に主体的に取り組む手立て
- ③ 情報の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表・討論の仕方等の学び方やものの考え方を各教科等との関連を図ることにより身に付けさせる手立て
- ④ 自然体験や社会体験、観察や実験、調査、ものづくりや生産活動等を取り入れた体験的な学習や問題解決的な学習にするための手立て
- ⑤ 学年・学級の壁を取り払った学習形態、外部の人材活用、T・Tなど複数の教師が協力したり、全員が一体となって指導したりする指導体制などの工夫や手立て

## 3 単元の活動コンテ

※ 単元の過程及び学習活動、教師の評価と指導について述べる。

※ 評価規準については、各教科等との関連を図った指導を  で示している。

※ 本校の基本的な学習活動である「オリエンテーション」「追究活動」「振り返る活動」に沿った流れにしている。

## 4 本時の活動コンテ (○/○)



教師は、本時の目標（活動のまとめりごと）を明確にし、その評価規準を位置付け、教科との関連を図りながら、どんな指導を行うのかを分かりやすく述べる。

※ 本時の活動については、追究活動の進み具合によって子どもたちの活動が特定しにくいことが予想されるので教科のように詳しく分析することが難しい。そこで、「コンテ」という言葉にも表されているように、子どもたちの活動の大まかな場面（カット）を示して、イメージ化した。